



「面白くて、ためになるキワニスクラブ」を目指して

東京キワニスクラブ会長 藤原武平太



この2014年の1年は、東京キワニスクラブにとって、画期的な年になります。昭和39年（1964年）に、日本のキワニスクラブが発足して以来今年、50年になります。本年4月11日に「東京キワニスクラブ50周年記念式典」を、キワニス・インターナショナルのギンター・ガッサーご夫妻を迎えて、東京の「銀行倶楽部」で開催します。全国のキワニスクラブの皆様もぜひご参加ください。台湾とフィリピンのキワニスクラブからも駆けつけてくれます。オペラの世界的なプリマドンナの中丸三千繪さんの美声も堪能できます。

本年7月17日から同19日まで、千葉県の「幕張メッセ」で、「国際キワニス年次総会」が、「アジア・太平洋地区（ASPAC）年次総会」と併催で、日本で初めて開催されます。世界中からキワニアンが3,000人余集まります。29の日本のキワニスクラブからも沢山のご参加をお待ちしています。開会式には、まだ公表はできませんが、特別のご来賓のご出席をお願いしています。柔道の山下八段による子どもとの柔道デモンストレー

ションも依頼済みです。ご期待ください。

世界からのキワニアンを迎えて、日本の「おもてなしの心」の神髄を示しましょう。VIP接遇、空港案内、情報案内、登録といったロジスティック面で抜かりの無いように万全を期さねばなりません。

私は、「面白くて、ためになるキワニスクラブ」を目指しています。平均年齢68.2歳の我々がこの年で、全く素晴らしい、新しい友人を得られるのは、キワニスを置いてほかにありません。社会貢献と会員相互の親睦の両面で、会員1人1人が出来ることを、惜しまず、臆せず、実行しましょう。「面白いな」と実感できるのがキワニスの誇るべき特色でもあります。皆様の思い通りに楽しんでください。我々理事はそのための労を厭いません。ご用命をお待ちしています。

2014年が皆様と東京キワニスクラブにとって素晴らしい年でありますように！
（藤原武平太会長）

オレンジリボンたすきリレー 2013. 10. 27

毎年11月は児童虐待防止推進月間です。このために10月の最終日曜日には、毎年子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーが開催されており、昨年10月27日の日曜日に第7回を迎えました。このリレーは渋谷を起点とする都心コースをはじめ湘南コース、鎌倉・三浦・横須賀コースがあり、いずれも横浜・山下公園をゴールにボランティアのランナーがオレンジの襷をつないで走ります。この襷には、子どもたちの明るい未来と子ども虐待防止の願いが込められています。

東京キワニスクラブはこのイベントを後援・協賛しており、第1回から参加しております。当クラブへは東京タワーから泉岳寺までのたすきリレーとランナーへの応援、児童虐待防止推進のためのチラシやオレンジリボ

ン配りなどが割り当てられております。今回は素晴らしい秋晴れの下、木下功子会員と東京キワニスクラブユースフォーラムの明治学院大学JUNKO Associationの会員11人がランナーとしての参加があり、大いに盛り上がりました。楽しいミュージックイベントやランナー代表の勇ましい決意表明があり、10時50分にランナーの皆さんを送り出しました。

東京キワニスクラブとしては今後も児童虐待防止の推進に取り組んでいきたいと考えております。そのための意思表示として会員の皆様にオレンジリボンバッジの購入とその着用をお願いしております。まだ購入されていない方は事務局に在庫がありますのでぜひお申し出ください。

また、尾崎会員のご尽力でサッポロホールディングスから清涼飲料の提供をいただき主催者から感謝の言葉

をいただいております。

(高坂和夫前ボランティア活動委員長)

「キワニスドールをつくる会」報告

昨年10月から今年の1月末までの4ヶ月間で、「キワニスドールをつくる会」を18回開催し、参加者は会員79名、会員外約530名でした。以下、2点について報告します。

(1) 企業の参加が12社となりました。

企業では、PGF生命㈱、アクセンチュア㈱、MSD㈱、㈱損保ジャパン、三井住友海上火災保険㈱で開催し、協力企業はこれで12社となりました。最近、企業の社会貢献プログラムとして「キワニスドールをつくる



会」を採用する企業が増えており、今後の「キワニスドールをつくる会」は企業が中心になると思われます。

なお、三井住友海上火災保険㈱で今回初めて開催が実現しましたが、これは伊藤康成会員のご尽力によるものであり、当日の会には、会員10名、同社から45名が参加して大盛況となりました。

(2) 学校関係も活発です。

東京愛育苑金町学園、荏原看護専門学校、板橋看護専門学校、広尾看護専門学校、群馬ガールスカウト連盟、東京家政学院、田園調布学園、大妻中野高校にて開催。大妻中野高校では4日間で6回、型取りから脇とじまでを行い、中村禎良会員の協力グループの方々にご参加頂き、きめ細かい指導をして頂きました。

1月初旬に、8新聞にて、キワニスドールが紹介され、関心も高まっており、この追い風を今後の活動に活かせたいと考えております。

改めて、ご協力頂きました会員の皆様方に感謝申し上げます。
(大東健治ボランティア活動委員長)



企業での「キワニスドールをつくる会」に参加して

2013. 10. 4、2014. 2. 5

昨秋（10月4日）は都心の外資系生命保険会社、先日（2月5日）はお台場にある大手飲料会社のボランティア支援制度に基づく、「ドールをつくる会」に出席しました。前者は若手社員を中心に約30名、後者は幅広い年齢層から16名が参加されていました。いずれも、ボランティア活動委員会の洗練された会の運営と、それに真摯な眼差しで応えられていた参加者の笑顔に大きな感銘を受けました。

特に心に残ったのは次の3点です。

1. 製作作業に取り掛かる前のDVDの放映、委員会講師の簡にして誠に要を得たご説明、そして綿詰めから最後の開口部くけ縫いまでの一連の流れは、ある種の形式美と言っても良く、東京キワニスクラブの伝統文化になっていると思いました。
2. 参加された皆さんが口々に、「自分で作った人形に愛

着を持つが、これが子ども達のお役に立つと思うと気持ち癒され、喜びが倍になる」と感想を述べておられましたが、そのお顔は輝いていました。

3. 作業後、「キワニスはどういう意味ですか」、「このドールは海外にも行くのですか」、「クラブの会員は他にどんな活動をしているのですか」等の質問を受ける中で、キワニスクラブへの関心と理解が徐々に浸透しているこ



とを実感しました。

こうした催しを企業との間で地道にアレンジしておられる日本フィランソロピー協会の加勢川事務局長、そして一緒に充実した作業に加わった東京クラブの仲間の皆さん

に心から感謝を申し上げます。機会があれば次回は、私もお針を持って、くけ縫いにチャレンジしたいと思います。

(石原正之国際キワニス日本地区事務総長)

共同通信社のキワニスドール取材対応と新聞社各紙への報道

2013. 12. 16

昨年12月16日、東京ベイ浦安・市川医療センターにて共同通信記者の取材がありました。この結果、キワニスドールについての記事が1月5日から10日にかけて全国の紙面(14紙)に掲載されました。

同センターでの取材内容は以下のとおりでした。

- ・キワニスドールの病院での使われ方
- ・医師へのインタビュー
- ・入院した子どもさん(2歳児、5歳児)、ご両親への取材

等がありましたので以下報告します。

- 取材側：共同通信編集局文化部
田澤穂高記者
ビジュアル報道局写真部
安藤由華担当
- 対応側：東京ベイ浦安・市川医療センター 小児科
草深純一・部長
香西ひろみ教育担当部長
東京キワニスクラブ
古屋前事務局長、
宇田川事務局員 同席

この取材は当初日本地区のホームページへの照会が



あり、東京クラブで事前にレクチャーを行い、その後東京ク

ラブでドールを寄贈し、活用されていることとキワニスドールシンポジウムへの協力(発表等)をいただいていることから取材をお願いしたものです。

この取材のほか授業でドールを作成している東京家政学院高等学校の中野実香先生へのインタビューもありました。

この記事については共同通信社から配信され、年明け早々に日本経済新聞(1月7日)、東京新聞(1月5日)、埼玉新聞(1月5日)、沖縄タイムス(1月8日)、日本海新聞(1月5日)、新潟日報(1月5日)、北国新聞(1月5日)、四国新聞(1月6日)、福島民報(1月5日)、東奥日報(1月5日)、岩手日報(1月5日)、茨城新聞(1月5日)、福島民友(1月5日)、徳島新聞(1月10日)の文化欄の記事など合計で全国の14紙に掲載されました。

共同通信社の田澤記者の関心と取材協力により、キワニスドールとキワニスクラブの知名度の向上に少しでも寄与できたものと思います。

(古屋俊彦前事務局長)

エリミネイト・プロジェクトの 確実な推進

東京クラブは、妊産婦・新生児破傷風（Maternal/Neonatal Tetanus）をこの世界から完全に撲滅（Eliminate）することを目指すエリミネイト・プロジェクトへの参画を決定、平成24年いち早くモデルクラブ並びに100Kクラブ達成の約束（pledge）を宣言して以来、ファミリーデー、新年互礼会や例会時での募金呼びかけ、8回を数えるエリミネイト支援コンサート、ゼラー章やヒクソン・フェロシップへの拠出のお願いなどを通じ、着実に成果を上げて来ました。モデルクラブの目標額は16万5千米ドル（会員一人当たり750米ドル）、この1月現在での達成率は、51%と順調に推移していき、関係の皆様には深く感謝申し上げます。

これまでの取り組み実績評価を踏まえ、特にエリミネイト・プロジェクトの表彰制度を活用したウォルター・ゼラー章、ヒクソン・フェロシップやインパクト・ドナー



ELIMINATE

Kiwaniis eliminating maternal/neonatal tetanus



（350人章、175人章）への拠出を最も有効な募金参加の一つとしてお願いして参ります。特に新入会員はじめ未経験の会員諸兄には是非一度ご参加頂きたいと思えます。そのほか、募金箱に直接ご寄付を頂く機会も設けますし、チャリティ・コンサート、ファミリーデーなど従来以上に会員やご家族の皆様様に募金活動へのご参加を実感して頂けるよう努力して参りますので、ご支援の程宜しくお願い致します。

※このプロジェクトへの寄付金は所得税法上の優遇措置が受けられますので、ぜひご活用ください。

プロジェクトのスタート時、MNT 撲滅対象国は40ヶ国であったものが、この1月には25カ国までに減少、活動の成果が確実に現れています。

また、日本地区では一人当たりの寄付額（プレッジ+ 実際寄付額）が638.58米ドルで世界第1位、このプロジェクトへのクラブ参加率も100%に達するなど各クラブの努力が続いています。当クラブとしては平成29年6月までの息の長い取り組みですが、今後も活動の基本方針には変わりなく、着実に推進していきます。

「救える命が有るのなら、何としてでも助けたい。そのために出来る限りのことを!!」これは私のクラブ・コーディネーターとしての原点です。破傷風撲滅のパイオニア日本、先達の高い意志を受け継ぎ誇りを持って世界の子ども達のために貢献しようではありませんか。

（松本一紀エリミネイト・プロジェクト・東京クラブ・コーディネーター）

「慰霊の泉」の清掃作業に参加して 2013. 12. 10

昨年12月10日午後1時過ぎ、生まれて初めて「慰霊の泉」でキワニスの皆様と清掃作業を体験しました。

待ち合わせ時間に伺うと皆さんは既に清掃作業に着手されていました。竹箒でイチョウの落ち葉を手際よく竹ザルに集め、リヤカーに運び込む。簡単な作業ですが、慰霊の泉あたり一面に落ち葉が敷き詰められたように重なっており一部の落ち葉はぬれ落ち葉状態になっているため結構な重労働になりました。しかし会員の皆さまは普段のトレーニングの賜物か、息があがることもなく実にきびきびと落ち葉をかき集めあっという間にリヤカーで運んでいく。

特に役割分担をしているわけではないがそれぞれ持



ち場を決めて清掃作業を楽しんでいらっしやる。見ていて実に気持ちが良い。「慰霊の泉」周辺が垢抜けたようにきれいになった頃を見計らって清掃作業を終了。全員で泉を囲んで記念写真を撮り三々五々解散。

解散後、私は靖国神社へお参りました。わずか一

時間強の清掃作業ではありましたが、大変気持ちの良い心地よい時間でした。継続は力なり。ぜひ次回も参加し、皆さんと心の汗も流したいと思います。

(佐藤隆会員)

2014 年国際キワニス年次総会 東京・千葉大会の楽しみ方



世界各国からの参加者の皆様、また日本地区から参加の皆様のために、魅力あるプログラムを企画しております。まだ、最終確定ではありませんが、その一部をご説明したいと思います。

- ① 7月17日(木) 午前の「開会式」には、日本から**特別来賓の方をゲスト**としてお招きしご出席をいただく予定です。まだ、公表できませんが、ご期待下さい。
- ② 大会期間中、幕張の地元の**千葉県立幕張総合高校**の高校生たちが総出で参加し、合唱、オーケストラ、お花、お茶、書道、剣道、柔道等の紹介で、参加者をもてなしてくれます。幕張総合高校は、NHK合唱コンクール及び全日本合唱コンクールで2013年度金賞を受賞した高校です。
- ③ 7月17日(木) 午後と18日(金)の午前には、茶道、華道、書道、香道、折り紙、盆栽等の日本文化の紹介をするコーナーを設営し、幕張総合高校の学生さんに加えて各分野の専門家の方により行います。
- ④ 7月17日(木) 夜のジャパン・ナイトでは、会食の後に、**海上自衛隊の歌姫として今話題のソプラノ歌手三宅**



由佳莉 3等海曹を迎え、美しい歌声に酔いしれていただきます。三宅さんは「祈り～未来への歌声」CDでクラシック No.1 のヒット中です。

⑤ ASPAC 総会は7月17日(木) 午後、国際大会総会は7月18日(金) 午後に行われます。ASPAC

総会では、国際理事の選挙が行われます。

- ⑥ 7月18日(金)には、午前中に日本文化紹介、午後に日本の武道紹介が行われます。その一環として、17時30分から18時30分までの間、**柔道の山下泰**

7月17日(木)	午前	開会式
	昼	昼食会
	午後	ASPAC 総会 日本文化紹介
	夜	ジャパン・ナイト
7月18日(金)	午前	フォーラム 日本文化紹介
	午後	国際大会総会 日本武道紹介
	夜	国際友好晩餐会
7月19日(土)	午前	閉会式

裕 8 段全日本柔道連盟副会長に「柔道を通じて若者を育てる」という講演と、子ども達と一緒に柔道の取り組みの演技をしていただきます。

- ⑦ 7月18日(金) 夜は国際友好晩餐会が開催されます。約1,000名の参加による晩餐会が行われます。
- ⑧ 7月19日(土) 午前中は閉会式が行われ、ここで世界奉仕活動賞(World Service Medal)が受賞者に贈られます。日本から受賞者が選ばれる可能性があり、これもハイライトの一つになるでしょう。
- ⑨ 日本地区各ディビジョン毎にその地域の特色を出した展示ブースの企画設営をお願いしています。
- ⑩ 大会のスケジュールに合わせたツアープランも用意されています。また、ディズニーリゾートも幕張から15分の所にあり、大会期間中、またはその前後に訪問されることも楽しいプランになるでしょう。

この大会は、日本地区で行う初めて大会であり、初めてのASPACと国際年次総会の合同の大会です。その成功のため、日本地区各クラブから、50%以上の参加者を出して、世界からの参加者のおもてなしをしていただきたくお願いしています。東京キワニスクラブからの積極的な参加を期待しています。

(北里光司郎ホストコミッティ委員長)

クラブ設立 50 周年を迎えての諸事業

6 年後に迎えるオリンピックの東京開催が決まり、日本中が喜びの声であふれたのは昨秋のことでした。東京でのオリンピック開催は二度目になりますが、今なお多くの人々の記憶に深く刻まれている前回は、昭和 39 年のことでした。その記念すべき 1964 年にアジア太平洋地域で初めてのキワニスクラブが東京に誕生したのも、偶然の一致以上の意味合いがあったのかもしれませんが。

1964 年 1 月 24 日に東京ヒルトンホテルを例会場として東京キワニスクラブが発足しましたので、今年 2014 年(平成 26 年)は設立 50 周年を迎えました。

50 周年を記念・祝賀して、

- 記念式典・祝賀会** いつものファミリーデーに代えて国内外の来賓を迎え 4 月 11 日に盛大に行う予定
- 「慰霊の泉」の改修** 明治百年を記念して昭和 42 年に建立、靖国神社に献納された慰霊の泉は、設立 40 周年の際に一度改修工事がなされていますが、今

回さらにメンテナンス工事を行うもの

- 50 周年史の作成** これまで節目々々に『30 年の歩み』『この 10 年の歩み・40 周年記念誌』が貴重な記録として残されており、今回 50 周年を節目として記念誌を作るもの
- ユースフォーラムの充実** 若者ボランティア活動団体相互のつながりを取り持っていこうとの機運が高まっており、50 周年を契機に一層の充実強化を図るもの
- 会員増強キャンペーン** 50 周年を記念し 50 人を目標に新たなメンバーを仲間に入れていこうとするもの。等々さまざまなイベントが企画されており、関係する委員会を糾合しての 50 周年記念固有事業実行委員会(藤原会長が委員長)を組織しているところです。会員の皆さんの積極的なご支援とご参加をお願い申し上げます。(広畑史朗事務局長)

一般社団法人東京キワニスクラブの定時総会開催 2013. 11. 29

昨年 11 月 29 日、一般社団法人東京キワニスクラブの定時総会が、法曹会館高砂の間で開催されました。

議題は①一般社団法人移行後の一年間の事業報告・収支決算、②公益目的支出計画完了月日の変更申請、③定款の一部変更、④平成 26 年 9 月期の理事・監事の選任の四つでした。

定款に基づき緒方会長が議長となり開会を宣言し、古屋事務局長から会員総数 219 に対し出席者数 73、委任状提出 80(うち電子的方法によるもの 10)で有効な議決権は 153 に達するので総会員の議決権の 3 分の 2(146)以上となり、定款の一部変更の審議を含めて総会は有効に成立していることが報告されました。

まず、第一号議案「平成 25 年 9 月期事業報告書並びに収支決算について」の内容について古屋事務局長から資料に基づき一年間の事業報告、平川財務委員長から収支決算報告が行なわれました。続いて野末監事から理事会その他重要な会議に出席するなど理事等の職務執行状況を把握し、監査の結果について事業報告、計算書類及び付属明細書は正しく示されていると認めるとの報告がありました。

緒方議長が決算書類(貸借対照表、収支計算書、財産目録等)について諮り、満場一致で承認されました。

第 2 号議案「公益目的支出計画完了月日の変更申請」について古屋事務局長から資料に基づき同変更申請理



由と同支出計画の実績見込みについて説明があり、当初の完了月日を一年延期し平成 29 年 9 月 30 日に変更申請することについて提案がありました。

緒方議長がこれを諮った結果、満場一致で承認されました。

第 3 号議案「定款一部変更について」緒方議長から変更の理由、新旧対照表による比較等について説明した後これを諮り、満場一致で承認されました。

これによりサテライトクラブの設置が可能となり、第一号として福井県人サテライトクラブが誕生することとなりました。

第 4 号議案「平成 26 年 9 月期一般社団法人東京キ

ワニスクラブ理事・監事について」緒方議長が資料に沿って説明し、これを諮り満場一致で承認されました。

以上で総会は終了し、その直後の臨時理事会で藤原

会長他役員が選定され職務も決まり、新しい体制でクラブ運営が進められています。

(古屋俊彦前事務局長)

東京キワニスクラブ福井県人サテライトクラブ設立 2013. 12. 2

一連の手続きを経て、昨年12月2日付けで、東京キワニスクラブ福井県人サテライトクラブが設立されました。関東在住の福井県出身者5名の新規会員と、同県に關係の深い東京クラブ会員5名の10名で発足し、会長に藤井会員、事務局長に竹嶋会員が就任しました。12月9日には、藤原会長、緒方前会長、吉田副会長のご出席の下、発足会が開催されました。

本サテライト会員は、所定の年会費も収め、東京クラブ会員としてカウントされます。

本サテライトの目的は、①キワニスクラブの理解を深め、福井県にキワニスクラブを新設することを目標に準備を進める、②東京クラブの、キワニスドール製作などの奉仕活動に参加する、③ゲスト参加が認められる東京クラブの活動に、ゲストとして参加するなどです。

国際キワニスは、会員増強とクラブ新設を柱とする成長戦略(Campaign For Growth)を重点推進中です。東京クラブとしても、国際キワニスの方針に呼応して努力する必要があります。今年、東京クラブは設立50周

年を迎え、また、国際キワニス年次総会とASPAC大会を幕張で同時開催します。これらのイベントを成功させ、また東京クラブを軸に日本地区のCFG(会員増強キャンペーン)で実績を上げ、世界における日本地区のプレゼンスと貢献を拡大することが重要であると思います。

クラブサテライトについては、米国では、4～5名から20名規模のものが、36設立されています。日本地区でも、本日現在11のサテライトが設立されています。弾力的な方法で日本地区の会員を増強していくためにも、クラブサテライト設立の動きは、今後益々活発化していくものと思われます。日本地区の会員数が増強され、キワニスの奉仕活動が勢いを増し、社会に一層浸透・貢献していくことが望まれます。

最後に、福井県人サテライトクラブ設立実現のため、多大なるご尽力とご支援を頂いた関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

(松見芳男日本地区成長戦略委員長)

平成 26 年新年互礼会 2014. 1. 10

1月10日(金)午後5時30分から、新年互礼会が銀座7丁目のサッポロライオン クラシックホールで開催されました。

当日は、大寒波到来で、この冬一番の厳しい冷え込みにもかかわらず、会員、パートナー96名の方々が参加されました。

今年は東京キワニスクラブ設立50周年記念ということもあり、藤原会長から新年のご挨拶および力強い決意表明のあと、午年生まれ(年男・年女)の会員の皆様による鏡開き、引き続き年男(女)を代表して、古屋俊彦会員のご発声で乾杯して懇談となりました。

暫くの歓談のあと、リージョン・オブ・オーナー(国際キワニスからキワニス在籍25年以上の方々が5年毎に表彰される)の表彰伝達が行われました。当日出席された関野直輔会員(40年)、横川端会員(30年)のほか、当日欠席の北野次登会員(50年)、須藤幹雄会員(30年)、岩本龍人会員(25年)、服部悦郎会員(25年)に、藤原会長から賞状と特製ピ

ンが授与されました。続いて恒例の福引が行われ、笑いと拍手で大いに盛り上がりました。

中締めは吉田副会長。終始賑やかで和やかなムードに包まれる中で、「今年の樽酒は、大変うま(午)かった」と締めくくり、50周年記念イベントとして幸先良いスタートをきることとなりました。

(狩野省市事業企画委員長)



2013年10月から2014年1月までの活動

2013年10月	1	火曜会
	1	東京愛育苑金町学園でのドールをつくる会
	1	PGF 保険社会貢献プログラムドールをつくる会
	4	第 2158 回例会(講師：後藤啓二氏)
	4	PGF 保険社会貢献プログラムドールをつくる会
	7	エリミネイトプロジェクト支援第6弾メモリアルコンサート
	8	火曜会
	10	第 57 回日本酒を楽しむ会
	12	荏原看護専門学校学校祭ドールをつくる会
	12	板橋看護専門学校学校祭ドールをつくる会
	14	秋季ゴルフ大会(箱根湖畔 GC)
	15	火曜会
	17	宝塚観劇会(花組公演)
	18	靖国神社秋季例大祭
	18	第 2159 回例会(講師：斎藤精一郎氏)
	20	第 23 回落語鑑賞会
	22	火曜会
	22	第 72 回囲碁愛好会
	27	児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー
	29	火曜会
11月	1	第 2160 回例会(講師：尾崎聖治会員)
	2	広尾看護専門学校学校祭ドールをつくる会
	5	火曜会
	9	埼玉キワニスクラブチャリティディナーショー
	12	火曜会
	14	第 58 回日本酒を楽しむ会
	15	第 2161 回例会(講師：鈴木健司会員)
	15	群馬ガールスカウト連盟ドールをつくる会
	19	火曜会
	20	アクセンチュア社会貢献プログラムドールをつくる会
	21	MSD(株)社会貢献プログラムドールをつくる会
	21	第 17 回ワインを楽しむ会
	25	東京家政学院ドールをつくる会(授業)
	26	火曜会
	26	第 73 回囲碁愛好会
	27	エリミネイトプロジェクト支援第7弾クーベリックトリオ
	28	宝塚観劇会(宙組公演)
	29	第 2162 回例会(定時総会)
	29	新旧役員懇親会

12月	3	火曜会
	6	第 2163 回例会(講師：岩尾總一郎氏)
	8	第 39 回文楽を楽しむ会(文楽鑑賞教室)
	9	損保ジャパンキワニスドールをつくる会
	10	火曜会
	10	「慰霊の泉」清掃会
	11	埼玉クラブ作文コンクール 夜間例会
	12	第 59 回日本酒を楽しむ会
	12	エリミネイトプロジェクト支援第8弾ウィーンピアノトリオ
	14	囲碁大会&忘年会(第74回)
	15	第 39 回文楽を楽しむ会
	16	共同通信 キワニスドール取材
	17	火曜会
	19	横浜クラブ年忘れ家族例会
20	第 2164 回例会(講師：藤巻健史氏)	
28	第九を聴く会(サントリーホール)	
2014年1月	4	新春大歌舞伎(歌舞伎座)
	7	隅田川七福神めぐり
	10	第 2165 回例会(新年互礼会)
	14	火曜会
	17	第 2166 回例会(講師：長井鞠子氏)
	17	三井住友海上火災保険(株)ドールをつくる会
	18	田園調布学園キワニスドールをつくる会
	21	火曜会
	21	大妻中野高校 ドールをつくる会(授業)
	22	大妻中野高校 ドールをつくる会(授業)
	23	大妻中野高校 ドールをつくる会(授業)
	25	大妻中野高校 ドールをつくる会(授業)
	26	大相撲初場所観戦会
	28	火曜会
28	第 75 回囲碁愛好会	
30	神韻世界ツアー 2014 日本公演	
30	宝塚観劇会(雪組公演)	
31	第 2167 回例会(講師：佐々木信行会員)	
31	神韻世界ツアー 2014 日本公演	

2014年2月から5月 今後の予定

2014 年 2 月	1	第2回オペラを楽しむ会「カルメン」
	2	神韻世界ツアー2014日本公演
	4	火曜会
	5	第64回国際懇話会(講師:中前忠氏)
	5	サントリー社会貢献プログラム ドールをつくる会
	7	第2168回例会(講師:加藤丈夫氏)
	9	第40回文楽を楽しむ会
	10	キワニスドールをつくる会 (パソナグループ)
	13	第60回日本酒を楽しむ会
	16	第40回文楽を楽しむ会
	18	火曜会
	20	アクセンチュア社会貢献プログラム ドールをつくる会
	20	宝塚観劇会(星組公演)
	21	第2169回例会(講師:安達春汀氏)
	23	第40回文楽を楽しむ会
	25	火曜会
	25	第76回囲碁愛好会
27	第18回ワインを楽しむ会	

3 月	4	火曜会
	5	JCB社会貢献プログラムドールをつくる会
	7	第2170回例会(講師:青木和光氏)
	7-9	第5回美術を楽しむ会
	11	火曜会
	13	第61回日本酒を楽しむ会
	13	JCB三鷹カードセンター 社会貢献プログラムドールをつくる会
	18	火曜会
	23-24	伊勢神宮参拝
	25	火曜会
25	第77回囲碁愛好会	
27	MSD(株)社会貢献プログラム ドールをつくる会	
28	第2171回例会	
4 月	1	火曜会
	4	第2172回例会
	8	火曜会
	11	設立50周年記念式典・祝賀会
	14	USB証券キワニスドールをつくる会
	15	火曜会
	17	宝塚観劇会(花組公演)
	17	USB証券キワニスドールをつくる会
22	火曜会	
22	第78回囲碁愛好会	
5 月	13	火曜会
	16	第2173回例会
	20	火曜会
	22	宝塚観劇会(月組公演)
	24	第6回キワニスドール・シンポジウム
	27	火曜会
	27	第78回囲碁愛好会
30	第2174回例会	

■平成26年1月31日現在 総会員数232名

■平成25年10月1日から平成26年1月31日までに入会された方 15名

寺崎志野、川村忠夫、増川道夫、細野久雄、仲村渠千鶴子、横尾敬介、
瀬尾純一郎、末澤和政、大嶋英一、浅野広視

サテライト会員:前野博紀、古野徳之、犬塚隆志、西尾修一、山岸博之

キワニスドールとは

身長約 40cm で体重約 50g、とても素朴な形で、目も鼻も口もありません。ただ一つ身に付けているのは、キワニスマークの小さなラベルだけです。

しかし、このちょっと風変わりな、ノッペラボウの小さな人形が普通の玩具の人形とは違った方法で、全世界の病気の子どもたちに大きな力を与えています。キワニスドールは、病気の子どもたちと仲良しになり、見守ることが使命です。

白い木綿生地にポリエステル綿を詰めただけのキワニスドール。ノッペラボウなのは、使う人が顔を描いたり洋服を描いたりすることができるようにしているためです。また、お医者さんや看護師さんが、治療の説明のために、人形に絵を描くこともできます。さまざまに描かれた人形は、病気の子どもの人形になります。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

2009年から毎年、キワニスドールの利用実例などについての情報共有をはかり、作る側と利用する側双方の課題を議論し合う場として、キワニスドール・シンポジウムを開催しています。

キワニスドール (Kiwaniis Doll) を平成 18 年 7 月 14 日に、商標登録いたしました。

エリミネイト・プロジェクトについて

キワニスはユニセフと共同で世界から母子破傷風を撲滅する活動を展開しています！

2015年までに1億1千万ドルを募金し、6,100万人の母子の命を救う活動です。日本のキワニスクラブはこの活動に賛同し、募金活動を行っております。

母子破傷風についての基本データは

- 破傷風は、9分に1人、毎日、160人の赤ちゃんの命を奪っている。
- UNICEFでは、2000年からこれまで20か国で母子破傷風の撲滅に成功し、残る40か国での撲滅を国際キワニスとUNICEFが協力して行い、世界からの撲滅を目指すこととなった。
- 破傷風ワクチン3回を妊産婦に注射すれば赤ちゃんまで免疫が得られる。
- 1回60セント、計3回1.8米ドル(約140円)の注射で母と将来の赤ちゃんの命を守ることが出来る。

エリミネイト・プロジェクトは、6,100万人のお母さんと赤ちゃんを助けることが出来ます。



日本は破傷風撲滅の先駆者—誇りを持ってこの活動を推進しよう！

破傷風撲滅というと、日本にはあまり関係がないと思われる方もいるかと思いますが。実は、破傷風菌と戦い、世界に先駆けて、破傷風菌の純粋培養に成功し、破傷風の免疫体を発見し、血清療法を確立したのは、日本の細菌学者北里柴三郎博士でした。日本はこの分野での世界の先駆者です。今回のキワニスクラブでの母子破傷風の撲滅に対するエリミネイト・プロジェクトのスタートに当たっては、既に北里研究所と北里大学より、2011年の日本地区千葉大会での特別講演等も含め特別の支援を受けています。日本地区は誇りをもってこの活動を推進しましょう。

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どもたちのために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どものための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉“Num-Kee-Wan-is”(みんな一緒に集まる)に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約80ヶ国、8,000のクラブ、約23万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、渋谷、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎の順に生まれ、現在29のクラブで会員は約1,700名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。2012年10月1日に一般社団法人に移行しました。

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 藤原 武平太 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: tokyokiwaniis@japankiwanis.or.jp URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>